

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1, 金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011001	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M1) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部 (M1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	トラベル英語の概要を学び、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning教材を活用し、基礎力を養成します。		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	English for Tourism Basic,三修社、Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、スピーキングテスト20%、e-learning 20%、GTLP20%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning		
2回	教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning		
3回	教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning		
4回	教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning		
5回	教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning		
6回	教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning		
7回	教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning		
8回	教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning、3step小テスト(1)		
9回	教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning		
10回	教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning		
11回	教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning		
12回	G-TLPテスト		

13回	教科書 Unit 12、Workbook 9、e-learning
14回	教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning、3step小テスト(2)
15回	教科書 Unit 14、Workbook 10、e-learning
16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011002	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M2) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32, 教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円 (税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習チェック及びテストゼミ (20%), 3Step CALL Systemの小テスト2回(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit1		
第3回	Listening 2, テキストUnit2		
第4回	Listening 3, テキストUnit3		
第5回	Listening 4, テキストUnit4		
第6回	Listening 5, テキストUnit5		
第7回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit6		
第8回	Listening 6, テキストUnit7		
第9回	DVD教材(2), テキスト教材Unit8		
第10回	G-TELP		
第11回	Listening 9, テキストUnit9		
第12回	3Step小テスト(2), テキストUnit10		
第13回	Listening 10, テキストUnit7		

第14回	Listening 11, テキストUnit11
第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1, 金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011003	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M3) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15, 教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(M3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水4 木2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、いろいろな会話場面で十分コミュニケーション活動が行えるようにします。また、日本文化に関して、英語で説明できるような簡単なプレゼンの練習も行い、自信を持って英語を発信できるようにします。また、TOEFL等の問題を利用して、速読の練習を行い、英文をはやく正確に読む練習も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルではなく、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースやダイアログなら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンを、自信もって英語でできるようにします。速読は、要点を把握する練習をしながら、TOEFL等の問題を時間内にとけるようにします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、リスニングを十分してから、授業に臨んでください。授業では、CDとプリントを用いて問題練習に挑戦してもらいます。また、重要例文の発話練習を行います。また、それらの英文を利用して、ダイアログを作成したりします。TOEFLの問題を用いた読解練習では、授業中に時間制限内に問題を解いてもらうとともに、家庭で精読してもらうことを課題として出します。		
授業内容/Class outline/Con	授業の最初は、TOEFL等のReading教材から、科学に関する問題を制限時間内に解く練習を行います。さらに指定テキストを用いて、音声面からの訓練を行います。外資系の会社で展開されるダイアログを聞き取り、さらに重要な表現は話せるように練習します。具体的には、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。 この授業に関しては、決して受身的な態度で参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): 実践ビジネス英語 ニューヨークシリーズ ベストコレクション (NHK出版) ¥2,000 プリント教材: 毎回配布します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、G-TLP20%、授業でのアクティビティ10%、e-learning テスト 20% で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション グローバル英語Unit 1
第2回	グローバル英語 Unit 1 TOEFL 科学論文 1
第3回	グローバル英語 Unit 2 TOEFL 科学論文2
第4回	グローバル英語 Unit 2 TOEFL 科学論文3
第5回	グローバル英語 Unit 2 TOEFL 科学論文4
第6回	グローバル英語 Unit 3 TOEFL 科学論文5
第7回	グローバル英語 Unit 3 TOEFL 科学論文6
第8回	グローバル英語 Unit 4 TOEFL 科学論文7
第9回	グローバル英語 Unit 4 TOEFL 科学論文8
第10回	グローバル英語 Unit 5 TOEFL 科学論文9
第11回	グローバル英語 Unit 5 TOEFL 科学論文10

第12回	グローバル英語 Unit 6 TOEFL 科学論文 11
第13回	G-TELP
第14回	グローバル英語 Unit 6 TOEFL 科学論文12
第15回	グローバル英語 Unit 6 TOEFL 科学論文13
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011004	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M4) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部 (M4)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hijimasako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標 / Goal	トラベル英語の概要を学び、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、 自分について、身近な事がらについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネット を使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容 / Class outline / Con	テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネット の動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を 養成します。		
キーワード / Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English for Tourism Basic, 三修社, Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 40%、スピーキングテスト 20%、e-learning 20%、GTLP 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	オリエンテーション、教科書 Unit 1、e-learning		
2回	教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning		
3回	教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning		
4回	教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning		
5回	教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning、3step小テスト(1)		
6回	教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning		
7回	教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning		
8回	教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning		
9回	教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning		
10回	教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning		
11回	G-TLPテスト		
12回	教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning		



13回	教科書 Unit 12、Workbook 9、e-learning、3step小テスト(2)
14回	教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning
15回	教科書 Unit 14、Workbook 10、e-learning
16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011005	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M5) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、TOEIC/TOEFL/IEALTS形式の問題をテストゼミ形式で行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習チェック及びテストゼミ(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), 定期試験(40%), G-TELP(20%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	Listening 5, テキストUnit12		
第7回	テキストUnit15		
第8回	3Step小テスト(1)(約30分程度), DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		
第12回	G-TELP		
第13回	Listening 10, テキストUnit6		

第14回	3Step小テスト(2), テキストUnit7
第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011006	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M6) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42, 教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(M6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水4 木2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。Business English から、医学関係の話題を用いて、リスニング、スピーキングの練習をします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびWords and Phrases で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル4の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。Business English を用いたリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法で英語を聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。 テキストと同時に授業中にも、3Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。 またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。 リスニングについては、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してください。 その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。 担当者から指示された家庭学習や予習復習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : The World We Live In (英宝社) 1,800円  教材 : プリント教材 必要に応じて配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、G-TELP 20%、e-learning 20%(小テスト) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. Business English Flu (1) e-learning Power Words Level 4 Unit.1-5 3 Step People at Work
第2回	教科書 Unit 2. Business English Flu (2) e-learning Power Words Level 4 Unit.6-10 3 Step People at Work
第3回	教科書 Unit 3. Business English Flu (3) e-learning Power Words Level 4 テスト 3 Step People at Work
第4回	教科書 Unit 4. Business English Flu (4) e-learning Power Words Level 4 Unit.11-15 3 Step People at Work
第5回	教科書 Unit 5. Business English Flu (5)復習 e-learning Power Words Level 4 Unit.16-20 3 Step People at Work
第6回	教科書 Unit 6. e-learning Power Words Level 4 小テスト Business English Obesity (1) 3 Step People at Work
第7回	教科書 Unit 7. Business English Obesity (2) e-learning Power Words Level 4 Unit.21-25 3 Step People at Work テスト
第8回	教科書 Unit 8. Business English Obesity (3) e-learning Power Words Level 4 Unit.26-30 3 Step People at Work
第9回	教科書 Unit 9. Business English Obesity (4) e-learning Power Words Level 4小テスト 3 Step People at Work
第10回	G-TLP e-learning Power Words Level 4 Unit.31-35 3 Step People at Work
第11回	教科書 Unit 10 Business English Obesity (5) 復習 e-learning Power Words Level 4 Unit.36-40
第12回	教科書 Unit 11. 3 Step テスト Business English Good Posture (1)  3 Step People at Work e-learning Power Words Level 6 小テスト
第13回	教科書 Unit 12. Business English Good Posture (2) e-learning Power Words Level 4 テスト Unit.41-45
第14回	教科書 Unit 13. Business English Good Posture (3)(4) e-learning Power Words Level 4 Unit.46-50
第15回	教科書 Unit 14. Business English Good Posture (5) 復習 e-learning Power Words Level 4 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011007	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K1) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	環境科学部 (K1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	noribei07142007@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	最新の話題、新聞記事、ジャーナル、ブログ、インタビューなど様々な文章スタイルを読みこなしながら、語彙力の強化とともに、読解力向上に役立つReading Fluencyの習得に努める。		
授業到達目標 / Goal	(1) TOEIC400 ~ 450程度の読解問題を解くことができる。 (2) 語彙力の強化により、内容を的確に把握し、読解のスピードを上げる。 (3) Reading Strategyを使いながら、システマティックに読解力向上を目指す。		
授業方法 (学習指導法) / Method	テキストの内容及び設問に関して、ペアワークを含めて進めていく。毎時間、読解・設問に関するワークシートを完成し、提出する。		
授業内容 / Class outline / Con	(1) English newsの記事を読み取り、Key sentencesを暗唱 (2) 語彙力・表現力の養成 (3) テキストの読解		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Active Skills for Reading 2 (Third Edition) (出版社HEINLE CENGAGE Learning)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	G-TELP 20%, E-Learning 20%, 課題・小テスト・授業参加度 20%, 期末試験 40%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	Active Participation in class is highly evaluated. Don't hesitate to speak up and ask questions.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	Course Outline (導入) : 教材配布		
2回	Unit 1 Chapter 1 Reading Passage		
3回	Unit 1 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension		
4回	Unit 2 Chapter 2 Reading Passage		
5回	3 Step Call System 小テスト Unit 2 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension		
6回	Unit 5 Chapter 1 Reading Passage		
7回	Unit 5 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension		
8回	Unit 11 Chapter 1 Reading Passage		
9回	Unit 11 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension		
10回	Unit 11 Chapter 2 Reading Passage		

11回	3 Step Call System 小テスト Unit 11 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
12回	Unit 12 Chapter 2 Reading Passage
13回	G-TELP (Test)
14回	Unit 12 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
15回	Review and Discussion
16回	The Final Exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011008	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K2) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(K2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ねらい: 二種類のテキストを使います。さまざまな練習問題を解いて行きます。さらに、英語のテキストを読んでいくことで、英語の総合力を高めます。プリントも使用する予定です。		
授業到達目標 / Goal	到達目標: テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
授業方法 (学習指導法) / Method	授業方法 (学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
授業内容 / Class outline/Con	まず、英語の総合力を身に付けるプリントを解き、その後テキストを読んでいきます。必ず指定された部分を予習しておいてください。指示された内容を調べることも課題となります。途中関連する映像も紹介する予定です。		
キーワード / Key word	総合英語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Peter Milward 著 書名: A Journey through England (第一回目の授業時に教室にて販売します。1,404円位)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験60% G-TELPテスト20% 課外学習のe-learning 20% (3Step CALL System 10% Power Words 10%) 定期テストには、遅刻・欠席・授業中の態度も含まれます。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回決められた分量の英文を読んで、英語の楽しさを味わってもらいたいと思います。併せて、読む・聞く・書く・話すの総合力を身に付けてもらいたいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回: オリエンテーション Pracatice Test 1		
第2回	第2回: 復習・Practice Test 2 Reading 1回目		
第3回	第3回: 復習・Practice Test 3 Reading 2回目		
第4回	第4回: 復習・Practice Test 4 Reading 3回目		



第5回	第5回：復習・Practice Test 5 Reading 4回目
第6回	第6回：復習・Practice Test 6 Reading 5回目 3step 小テスト1回目
第7回	第7回：復習・Practice Test 7 Reading 6回目
第8回	第8回：復習・Practice Test 8 Reading 7回目
第9回	第9回：復習・Practice Test 9 Reading 8回目
第10回	第10回：復習・Practice Test 10 Reading 9回目
第11回	第11回：復習・まとめ1 Reading 10回目 3step 小テスト2回目
第12回	第12回：Reading 12回目
第13回	第13回：G-TELPテスト
第14回	第14回：復習・まとめ3 Reading 13回目
第15回	第15回：復習・総まとめ
第16回	第16回：定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011009	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K3) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	K3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能 (リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング) を総合的に向上させることをめざす。		
授業到達目標 / Goal	TOEIC450点以上の英語力		
授業方法 (学習指導法) / Method	DVD付きテキストを使用しリスニング力を鍛える。また英文エッセイの内容について英問英答で理解を確認し、読解のポイントをつかむ。英文を聞き取る練習として、英英辞典を使った単語クイズも行う。これとは別にTOEIC語法・読解の練習問題を毎回し、語法の知識と語彙の強化を図る。テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、課外学習 (3 Step CALLとPowerwords) も組み入れてリスニング力・語彙力も強化する。		
授業内容 / Class outline / Con	日本で活躍する様々な出身国の人々とのインタビューを素材としたテキストを使用する。文化の違いを知ると同時に、インタビューでよく使われる表現も学ぶ。毎回のクイズや毎回の内容についての英問英答に答えることで、英語で反応する力を身に付ける。またテキストの内容に関連した簡単なペアワークをすることで会話力を鍛える。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『Working in Japan』 Cengage Learning David E. Bramley / 中井弘一 『New Steps to Success in the TOEIC Test Grammar & Reading 450』 松柏社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 (ディクテーションを含む) 30%、中間テスト (ディクテーションを含む) 15%、授業への参加度15%。G-TLP試験スコア20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、Powerwords 10%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障害学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション (英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)		
第2回	Unit 1: Sales Can Be Like Acting TOEIC対策テキスト Drill 1, 2		
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World TOEIC対策テキスト Drill 3, 4		
第4回	Unit 3: Love Sells Cars TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8		
第5回	Unit 4: Translating Is More Than Words TOEIC対策テキスト Drill 9, 10		

第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service TOEIC対策テキスト Drill 11, 12
第7回	Unit 6: Toast Your Success! TOEIC対策テキスト Drill 13, 14 3step小テスト 1回目
第8回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best TOEIC対策テキスト Drill 15, 16
第9回	中間テスト TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20
第10回	Unit 8: Build a Happy Life! TOEIC対策テキスト Drill 21, 22
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle TOEIC対策テキスト Drill 23, 24 3step小テスト 2回目
第12回	G-TELPテスト
第13回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change TOEIC対策テキスト Drill 25, 26
第14回	Unit 11: Connect Workers With Companies TOEIC対策テキスト Drill 27, 28
第15回	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention TOEIC対策テキスト Drill 29, 30
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011010	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英1)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語で臆せずにコミュニケーションがとれるようになるための基礎的英語力を身につける。		
授業到達目標/Goal	(1) 英語の音声の特徴、英語のアクセント・リズムについて理解し、リスニング能力を向上させる。 (2) 臆することなく、英語を発音し、場面に応じた情報を伝達できるようになる。 (3) 英語で情報を収集し、簡単な要約が英語できるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書と副教材(配布プリント)を使った演習形式の授業です。英語の音声の特徴を学び、実践で使えるための音読練習やペアワークを行います。また、副教材により、小・中学校の教室で使える実践英語や英語教材を取り上げることで、皆さんの英語の学習意欲を高めていきます。		
授業内容/Class outline/Con	英語の発音、アクセント、リズムについて学び、音読練習を通じて、英語で話すことへの自信をつけていきます。毎回、小テストを行います。 日本の身近な話題について、英語で情報を収集し、発信していく力を養成していきます。課題で出します。 グループワークによる音読発表。積極的に参加してください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: ENGLISH SOUNDS, ENGLISH MINDS 出版社: 金星堂 授業内で配布するプリント等		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	大学e-learning 20% (3step call system 10%, Power words 10%) G-TELP 20% 定期試験 40% 授業内小テスト・課題 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ペアワークなどの活動は積極的に取り組み、楽しく元気に参加してください。 毎回の授業で学んだ内容はしっかり復習しておくこと。 授業の進度や内容は変更することがあります。授業時にお知らせします。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 授業の進め方について 自己紹介とアンケート		
第2回	Unit 1 英語のアクセント Unit 2 英語のリズム		
第3回	Unit 8 つながって聞こえる音(連結) Unit 9 変化して聞こえる音(同化)		
第4回	Unit 3 紛らわしい母音(1) Unit 4 紛らわしい母音(2)		

第5回	Unit 5 紛らわしい子音(1) Unit 6 紛らわしい子音(2)
第6回	Unit 7 紛らわしい子音(3)
第7回	3 Step Call System 1回目テスト
第8回	Unit 10 聞こえなくなる音(1) Unit 11聞こえなくなる音(2)
第9回	Unit 12 英語のイントネーション(1) Unit 13 英語のイントネーション(2)
第10回	Unit 15 数量表現
第11回	3 Step Call System 2回目テスト
第12回	G-TELP テスト
第13回	副教材によるグループワーク
第14回	副教材によるグループワーク
第15回	副教材によるグループワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011011	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英2)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(L2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい:二種類のテキストを使います。さまざまな練習問題を解いて行きます。さらに、テキストを読んでいくことで、英語の総合力を高めます。プリントも使用する予定です。		
授業到達目標/Goal	到達目標:テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業方法 (学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	まず、英語の総合力を身に付けるプリントを解き、その後洋書を読みます。必ず指定された部分を予習しておいてください。指示された内容を調べることも課題となります。途中関連する映像も紹介する予定です。		
キーワード/Key word	総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Peter Milward 著 書名: A Journey through England (第一回目の授業時に教室にて販売します。1,404円位)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% G-TELPテスト20% 課外学習のe-learning 20% (3Step CALL System 10% PowerWords 10%) 定期テストには、遅刻・欠席・授業中の態度も含まれます。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。		
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回決められた分量の英文を読んで、英語の楽しさを味わってもらいたいと思います。併せて、読む・聞く・書く・話すの総合力を身に付けてもらいたいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回:オリエンテーション Pracatice Test 1		
第2回	第2回:復習・Practice Test 2 Reading 1回目		
第3回	第3回:復習・Practice Test 3 Reading 2回目		
第4回	第4回:復習・Practice Test 4 Reading 3回目		

第5回	第5回：復習・Practice Test 5 Reading 4回目
第6回	第6回：復習・Practice Test 6 Reading 5回目 3step 小テスト1回目
第7回	第7回：復習・Practice Test 7 Reading 6回目
第8回	第8回：復習・Practice Test 8 Reading 7回目
第9回	第9回：復習・Practice Test 9 Reading 8回目
第10回	第10回：復習・Practice Test 10 Reading 9回目
第11回	第11回：復習・まとめ1 Reading 10回目 3step 小テスト2回目
第12回	第12回：Reading 12回目
第13回	第13回：G-TELPテスト
第14回	第14回：復習・まとめ3 Reading 13回目
第15回	第15回：復習・総まとめ
第16回	第16回：定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011012	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英3)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部1階)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標 / Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	授業の前半では、TOEIC/TOEFL/IELTS形式のテストゼミを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円 (税別)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit12		
第7回	Listening 5, テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	3Step小テスト(2), テキストUnit4		
第12回	Listening 9, テキストUnit6		
第13回	G-TELP		



第14回	Listening 10, テキストUnit7
第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011013	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英4)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音音的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容 (概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音音的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、G-TELP20%、課外学習のE-Learning20% (3 Step CALL10%、PowerWords10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	3step小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/t/と/n/+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	G-TELP実施
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011014	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英5)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育 (L5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmat@		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館617号		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に読み(精読), 早く読み解くこと(速読)ができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文・英会話)にも応用できる。		
授業到達目標/Goal	TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解を得ることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) 演習形式とする。受講者全員があらかじめ指定された箇所の語句や表現の意味を調べ, 英文の内容を発表できるように予習する。授業ではこちらが無作為に指名するので, 担当者は当てられた箇所を予習をもとに発表する。 (2) 着実に読解力をつけるために確認テストを2回行う。 (3) おりにふれてリスニングの訓練も行う(ただし本コースの主たる目的は読解力の養成である)。		
授業内容/Class outline/Con	読解力を高めたいのに実力がつかない, 教科書の英文は退屈だと思っている学生も楽しく学べるように, テキストの素材は平易・明快な小説とエッセイに, 時代は19世紀と現代にしぼり, 注釈はもちろん, 英文法ガイドも設けられている教科書を準備した。存分に読み込んで学習してもらいたい。		
キーワード/Key word	読解力(精読・速読), 語彙力, 表現力(発信力)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	James Kirkup, Tales of Mystery and Magic. 音羽書房鶴見書店。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 授業内容に関する確認テスト第1回と第2回の成績 60% (2) G-TELPテスト 20% (3) 3step CALL小テスト 2回分10%, Power Words学習10% (この点に関しては第1回目の授業時に説明する) (4) 「便覧」にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
受講要件(履修条件)/Requirements	学生便覧を参照。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Netherlandic Tale, "The Three Wishes" (1)		
第2回	"The Three Wishes" (2)		
第3回	"The three Wishes" (3), リスニング練習		
第4回	"The Three Wishes" (4)		
第5回	"The Three Wishes" (5), リスニング練習		
第6回	3 Step小テスト第1回目, German Tale, "The Imp in the Bottle" (1)		

第7回	"The Imp in the Bottle" (2)
第8回	確認テスト第1回目, "The Imp in the Bottle" (3),
第9回	"The Imp in the Bottle" (4), リスニング練習
第10回	"The Imp in the Bottle" (5), リスニング練習
第11回	3 Step小テスト第2回目, Welsh Tale, "The Lady from the Sea" (1)
第12回	"The Lady from the Sea" (2), リスニング練習
第13回	G-TELPテスト
第14回	"The Lady from the Sea" (3)
第15回	"The Lady from the Sea" (4), リスニング練習
第16回	確認テスト第2回 (期末テスト)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011015	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英6)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L 英6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inage@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 6F 619 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:10 ~ 17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	総合英語 I の英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con	16回目 定期試験		
キーワード/Key word	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Intermediate Skills for Reading 成美堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験(60%)、G-TELP評価点(20%)、CALL教材への積極的な取り組み状況(20%)を基準に評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Formal Letter Writing: A Dying Art Scanningのスキルについて		
第2回	Unit 2 U.S. Teens: Reading is Interesting Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)		
第3回	Unit 3 How Old Is Old Enough Skimming for the Main Idea		
第4回	Unit 4 The History of Hollywood Recognizing Sequence of Events		
第5回	Unit 5 Numbers and Beliefs Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)		
第6回	Unit 6 The History of Chocolate Predicting のスキル 及び		
第7回	Unit 7 Breakfast Like a King Inferring のスキル 3step 小テスト実施		

第8回	Unit 8 Oh, No --- Not Another Test! Identifying Main and Supporting Ideas
第9回	Unit 9 FAQs about Recycling Understanding Main Ideas (Gist)
第10回	Unit 10 Time for Work, Time for Play Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
第11回	Unit 11 Netiquette --- Internet Dos and Don'ts Developing Reading Fluency (1)
第12回	Unit 12 Have You Read Any Good Books Lately? Developing Reading Fluency (2) 3step 小テスト実施
第13回	G-TELP 試験実施
第14回	Unit 13 Life Expectations Developing Reading Fluency (3)
第15回	Unit 14 The Oscar Goes to ... Willie Fulgear! Developing Reading Fluency (4) 授業のまとめ
第16回	定期試験実施

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011016	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英1)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	E1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(メールにより受付)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業時にアクティビティを行うことにより、主に発信力の養成を行う。一方で、発信力を高めるために必要な他の技能等を養う。		
授業到達目標/Goal	英語を使うトレーニングを通し、今後の研究や社会で英語を使える力を養う。		
授業方法(学習指導法)/Method	主にペア・グループワーク		
授業内容/Class outline/Con	Reading, Listeningを通して単語量や知識を増やす。アクティブラーニングを通し他の生徒と協力し英語を実践レベルで使う。Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行う。Speakingを通し間違えを恐れずに発話する力を養う。		
キーワード/Key word	コミュニケーション能力の向上、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	English Central, News in levels (その他インターネット記事)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(9回実施) 10% プレゼンテーショングループ評価 20% 定期試験 30% 3Step Call System 10% Power Words 10% G-TELP 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は今まで学んできた英語を実際に使うことを目的とします。これからの学習、及び社会において英語がどのように関わってくるか意識しながら英語を使う練習をしましょう。何かを受動的に学ぶというよりも積極的に自らの意見を述べ、全生徒が活発的に授業に参加してください。会話練習においては、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを感じてくれたらと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 (3 Oct.)	オリエンテーション / Group activity		
2 (17 Oct.)	小テスト / Reading activity / Group activity		
3 (24 Oct.)	小テスト / Listening activity / Group activity		
4 (31 Oct.)	小テスト / Reading activity / Group activity		
5 (7 Nov.)	3 Step 小テスト1回目 / Group activity		
6 (14 Nov.)	小テスト / Listening activity / Group activity		
7 (21 Nov.)	小テスト / Group activity <プレゼンリハーサル及び最終確認>		
8 (28 Nov.)	第1回 プレゼン「自由課題(経済学に関するテーマ)」		
9 (5 Dec.)	小テスト / Speaking practice / Group activity		
10 (12 Dec.)	小テスト / Speaking practice / Group activity		
11 (19 Dec.)	3 Step 小テスト2回目 / Group activity		
12 (26 Dec.)	小テスト / Speaking practice / Group activity		



13 (16 Jan.)	G-TELP
14 (23 Jan.)	小テスト / Group activity <プレゼンリハーサル及び最終確認>
15 (30. Jan.)	第2回 プレゼン「自由課題(経済学に関するテーマ)」
16 (6 Feb.)	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011017	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英2)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E (英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com 欠席の報告はメールですする必要はございません。後日、欠席届を提出してください。		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、必ず事務を通して連絡してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 授業にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	特にReadingに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 中学・高校で学んできた受験英語から脱して、日本語訳、英語訳に対する対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Goal	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
授業方法 (学習指導法) /Method	理解できない部分は、まわりの受講生とディスカッションしながら解決させ、すぐに答えを求めるのではなく思考力と分析力を切磋琢磨して向上させていきます。ことばの「あや」にばかりとらわれず、そのことばの基本となっているイメージをつかみながら、日本語に発展させるような学習に取り組みます。		
授業内容/Class outline/Con	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。多様なトピックについて多く取り上げられているTextです。Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで演習します。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング 脱受験英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) Final Examination 45%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。 無断遅刻・欠席が1/3以上になった時点でClass Attendance and Participationは、0%とさせていただきます。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	G-TELP、および課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。1回目の講義ではシラバスやテキスト等、かなり重要な情報をお知らせいたします。特に再履修の受講生は、やむを得ない理由がない限り必ず出席するようにしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 合理的な思考と分析について		

第2回	Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men ' s Treasure
第3回	Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans
第4回	Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio
第5回	Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee 11月7日 3Step小テスト1回目
第6回	Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce
第7回	Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace
第8回	Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work ~ 12月2日 ( 金 ) PowerWords1回目締切り
第9回	Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts
第10回	Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs
第11回	Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air 12月19日 3Step小テスト2回目
第12回	Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan
第13回	G-TELP ~ 1月20日 3Step学習時間締切り
第14回	Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World ' s Best ~ 1月27日 ( 金 ) PowerWords2回目締切り
第15回	Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon
第16回	Final Examination

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011018	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英3)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井石 哲也 / Iseki Tetuya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	井石 哲也 / Iseki Tetuya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	井石 哲也 / Iseki Tetuya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Object Student	E(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後に授業を実施している教室で受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英文法と英語読解基礎力養成と応用		
授業到達目標/Goal	1 英文法の基礎と英語読解力の養成と異文化理解(イギリス)。 2 英文読解の基礎力を、水産分野関連の英文読解に応用し、これにチャレンジする。		
授業方法(学習指導法)/Method	異文化理解(イギリス)のエッセイ精読によって、英文読解の基礎習得をめざす。		
授業内容/Class outline/Con	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回~第15回は英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、5回目と11回目の授業で3step小テストを、13回目にG-TELP(共通テスト)を実施し、これらの結果を評価の一部にあてる。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50点、G-TELP20点、授業における発表等10%、課外学習のe-learning 20点の配点とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real		
第2回	Chapter 2: Exporting Sport		
第3回	Chapter 3: Literature:The Reading Boom		
第4回	Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes		
第5回	3step小テスト(1回目) Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity,		
第6回	Chapter 6: Population: Food for Thought		
第7回	Chapter 7: Antiques:Older is Often Better		
第8回	Chapter 8: Smoke-free Britain		
第9回	Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals,		

第10回	Chapter 10: Television: Reflecting Our Lives
第11回	3step小テスト(2回目) Chapter 11: Structures of the Millennium
第12回	Chapter 13: Education in the UK
第13回	G-Telp 実施日
第14回	Chapter 14: Superstition and Beliefs
第15回	Chapter 15: Pedal Power まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011019	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英4)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Object Student	E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ビジネスの国際化があらゆる分野に浸透してきた昨今、企業によってはたとえ自分は海外に出張したり、駐在したりしなくても、外国人のクライアントが来社したり、英文メールが送られてきたりして英語でやり取りせざるを得ないという職場環境が増加傾向にあることは衆目の一致するところである。本講座は、将来そうした領域でも対応できるビジネスパーソンを目指しつつ、実践的なビジネス英語の習得を目標とするものである。		
授業到達目標/Goal	<p>ビジネスに関する英語表現や会話のスタイルを学ぶとともに、関連する英文に対して速読力と直読直解力を養成する。</p> <p>英語の4技能の運用能力を促進させる。</p> <p>英語圏のビジネスマナーを理解する。</p> <p>日本人と英語国民の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解する。</p> <p>TOEICテストや各種英語資格・検定試験で現状以上のスコアを計上する。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	各UnitのLesson1で「今日の使えるフレーズ」を毎回紹介していくが、文字通りビジネスの現場ですぐに使えるフレーズばかりを精選しているの、一つずつ確実に身につけていっていただきたい。各Unit後半のLesson2では、メール、新聞記事、手紙、通達、旅程表など、ビジネスの中で直面するさまざまなリーディング素材の読解にもアプローチを行なっていく。その際、Simultaneous Interpretation Method(同時通訳方式)やスラッシュ・リーディングという読解法を利用してこうした英文を速く正確に読み取る能力の養成を目指しつつ、毎時これを実践する。多忙なビジネスパーソン必須のこのリーディング技術を修得すれば、英文を読むスピードが増し、短時間に必要な情報を読み取ることができるようになる。このほか、英文メール作成時の注意点やビジネスマナー、異文化間コミュニケーションについても言及したいと考えている。		
授業内容/Class outline/Con	授業は、受講者の自発的な発表を重視した演習形式を進めていく。なお、この授業中の発表活動(積極的な発言や自発的な発表)についてはポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。また、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまざれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	速読、直読直解、ビジネス英会話、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にハンドアウト教材を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、G-TELP20%、課外学習のE-Learning20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し毎日のトレーニングを継続させることによって、実践的なビジネス英会話を含む実用英米語運用能力の促進が可能となる。復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケート、ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎固め(1))
第2回	ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎固め(2)、Unit 1: 現状を報告する(1)
第3回	Unit 1: 現状を報告する(2) / 数の英語 (位取りの違いに慣れる)
第4回	Unit 2: アドバイスを求める(1)
第5回	Unit 2: アドバイスを求める(2) / チャンツ / メールライティング講座 (ビジネスで使うメール)
第6回	3step小テスト(1回目)、Unit 3: 手伝ってもらおう(1)
第7回	Unit 3: 手伝ってもらおう(2) / ビジネスマナー講座 (外国人同僚との意思疎通)
第8回	Unit 4: 食事に誘う(1)
第9回	Unit 4: 食事に誘う(2) / チャンツ
第10回	Unit 5: プレゼンテーションを始める(1)
第11回	3step小テスト(2回目)、Unit 5: プレゼンテーションを始める(2) / 数の英語 (金額・電話番号の読み方はここに注意!)
第12回	Unit 6: 本題について説明する(1)
第13回	G-TELP実施
第14回	Unit 6: 本題について説明する(2) / チャンツ / メールライティング講座 (全体の構成を考える)
第15回	Unit 7: プレゼンテーションをまとめる / ビジネスマナー講座 (外国人同僚との意思疎通)
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や演習活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011020	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英5)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。		
授業到達目標/Goal	テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。基本的な英語を、聞いて理解できること。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式		
授業内容/Class outline/Con	各ユニットが400語前後から成る THE POWERFUL READER, BASIC, Second Edition をテキストに用い、世界中の興味深い話題について読む。14回の授業の初めの4回は精読を中心に、次の2回は文章全体の構造に注目して速読の準備をし、その後の4回は速読を中心に、最後の4回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせるよう演習を行う。  授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回指定する。その後、リーディングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家庭で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	THE POWERFUL READER, BASIC, Second Edition, Beth M. Pacheco & Joan Young Gregg, MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, ¥2000円+税。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step-CALL 10%、Power Words 10%)、定期試験 45%、小テスト約10%、授業での提出物、積極的な参加等約5%。 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシス広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシス広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		



授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 CROSSING BORDERS: STOLEN TREASURES AND INTERPOL
第2回	Unit 1 CROSSING BORDERS: STOLEN TREASURES AND INTERPOL
第3回	Unit 5 THE HAMBURGER AND THE RAINFOREST
第4回	Unit 5 THE HAMBURGER AND THE RAINFOREST
第5回	Unit 9 SPECIES THAT RUN FOR THEIR LIVES
第6回	第1回3step小テスト(15分程度) Unit 9 SPECIES THAT RUN FOR THEIR LIVES
第7回	Unit 2 FASHION FUSION EAST AND WEST
第8回	Unit 3 LANGUAGES LOST AND FOUND
第9回	Unit 4 IMPRESSIONISM: BEAUTY HAS NO BORDERS
第10回	Unit 6 SMOKE GETS IN OUR EYES
第11回	第2回3step小テスト(15分程度) Unit 7 THE GLOBAL ECONOMY: A WORLD TURNED UPSIDE DOWN
第12回	Unit 8 TAKE THE CHALLENGE: GO GREEN
第13回	G-TELPテスト
第14回	Unit 10 NATURAL AND UNNATURAL HISTORY
第15回	Unit 12 A DOG OF FLANDERS: AN ENDURING MASTERPIECE
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011021	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英6)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済学部(E(英6))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時の口頭による申請とメールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	海外渡航を想定した実践的な英語力を養成する。語彙や文法、発音を中心に、日常会話から初歩的な講義にも対応できるような総合的な英語力を養成する。特に、会話文の聴き取りと会話練習、説明文の読解と意味理解、作文を行うことで、総合的な英語学習を行う。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な音声規則を理解し、効率的にリスニングとスピーキングができるようになる。</li> <li>・基礎的な語彙や文法を着実に習得し、効率的に会話文や説明文の理解ができるようになる。</li> <li>・指定されたテーマに沿って自分の意見を簡潔に述べるようなライティングができるようになる。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の冒頭では、予習・復習を兼ねた小テストを実施する。</li> <li>・指定のテキスト及び配布するプリントを用いて、英語4技能について、総合的な学習を行う。</li> <li>・授業の最後では、作文や会話文の作成、暗唱等の課題を実施する。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: Go Global Preparing for ESL Courses Abroad 著者: 辻和成 他 出版社: 三修社 ISBN: 978-4-384-33448-7 C1086 価格: 2,000円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP: 20% e-learning: 20% 小テスト・課題: 35% 中間・期末テスト: 25%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
1回	10月4日 オリエンテーション & 準備学習		
2回	10月11日 Chapter 1: On the Plane		
3回	10月18日 Chapter 2: Airport Arrival Procedures		
4回	10月25日 Chapter 3: Meeting the Host Family		

5回	11月1日 Chapter 4: Sharing Japanese Culture
6回	11月8日 3-STEP 小テスト (1) & Chapter 5: Taking the Bus
7回	11月15日 Chapter 6: Orientation
8回	11月29日 中間テスト & 課題
9回	12月6日 Chapter 7: Making Phone Calls
10回	12月13日 Chapter 8: Seeking Medical Care
11回	12月20日 3-STEP 小テスト (2) & Chapter 9: Giving Presentations
12回	12月27日 Chapter 10: Shopping
13回	1月10日 G-TELP (TEST)
14回	1月17日 Chapter 11: Airport Departure Procedures
15回	1月24日 Chapter 12: Keeping in Touch by Email
16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011022	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T1) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学(T1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前夜		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(1)アメリカ3大ネットワークのニュース番組より、世界からの多種多様なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)アメリカのテレビニュース番組の英語の特徴に慣れ親しむ。		
授業到達目標 / Goal	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容 / Class outline / Con	DVDでテレビニュースを視聴、リスニング練習、練習問題による内容把握、和訳、英作文を行う。		
キーワード / Key word	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	ABC World News 18 (KINSEIDO)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教員評価分60% (定期試験60%、小テスト、出席、授業への取り組み40%) G-TELP20%, e-learningの評価 (1)Power Wordsの指定されたレベルの50ユニットを15週で修了すること 10%、(2)3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること (授業の6回目3step小テスト、授業の12回目3step小テスト) 10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席 (2回遅刻で1回欠席とみなす) で失格とする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業で指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	ABC World News 18 テレビニュース英語とは & Unit 1 (Royal Visit: Prince William in Japan)		
第3回	ABC World News 18, Unit 1 (Royal Visit: Prince William in Japan)		
第4回	ABC World News 18, Unit 5 (Operation Pizza)		
第5回	ABC World News 18, Unit 5 (Operation Pizza)		
第6回	3step小テスト1回目 ABC World News 18, Unit 6 (Big Powerball Jackpot Growing)		
第7回	ABC World News 18, Unit 6 (Big Powerball Jackpot Growing)		
第8回	ABC World News 18, Unit 8 (Real Money Investigation: Thieves Holding Your Data Hostage)		
第9回	ABC World News 18, Unit 8 (Real Money Investigation: Thieves Holding Your Data Hostage)		

第10回	ABC World News 18, Unit 9 (Burger Wars: Billion Dollar Burger?)
第11回	3step小テスト2回目 ABC World News 18, Unit 9 (Burger wars: Billion Dollar Burger?)
第12回	ABC World News 18, Unit 11 (Winter Blast)
第13回	G-TELP
第14回	ABC World News 18, Unit 11 (Winter Blast)
第15回	ABC World News 18, Unit 14 (School Bus Safety: Should School Buses HAVe Seat Belts?)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011023	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T2) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、及び16:10 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音音的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容 (概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音音的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、G-TELP20%、課外学習のE-Learning20% (3 Step CALL10%、PowerWords10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	3step小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/t/と/n/+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	G-TELP実施
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011024	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T3) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部 (T3)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hijimasa@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標 / Goal	トラベル英語の概要を学び、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容 / Class outline / Con	テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning教材を活用し、基礎力を養成します。		
キーワード / Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English for Tourism Basic, 三修社, Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 40%、スピーキングテスト 20%、e-learning 20% (3step Call System 10%, Power Words 10%), G-TELP 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning		
2回	教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning		
3回	教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning		
4回	教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning		
5回	教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning		
6回	教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、3step小テスト(1)		
7回	教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning		
8回	教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning		
9回	教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning		
10回	教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning		
11回	教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning、3step小テスト(2)		
12回	教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning		



13回	G-TELPテスト
14回	教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning
15回	教科書 Unit 14、Workbook 10、e-learning
16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011025	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T4) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi,		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi,		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 (16:00 ~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音音的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容 (概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音音的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、G-TELP20%、課外学習のE-Learning20% (3 Step CALL10%、PowerWords10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音と半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	3step小テスト(1回目) 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	3step小テスト(2回目) On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	G-TELP実施
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011026	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T5) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL/Tel	819-2092		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。</p> <p>「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウンの読解方法の実践指導を行う。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。</p> <p>TOEIC Test で500点以上の高得点を取れるような日常的な努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラビッド・リーディングの訓練を行う。内容的にはup-to-dateな話題を扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやってもらう。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>1回目 オリエンテーション：授業の眼目説明と授業展開のシュミレーション</p> <p>2回目 New Pangea：原始地球の大陸移動と人類の誕生を考える</p> <p>3回目 New Pangea：農耕の始まりを考える</p> <p>4回目 Mixed Response(part1)：国家の誕生と他国への侵略を考える</p> <p>5回目 Mixed Response(Part2)：異文化との交流と国家の発展について考える</p> <p>6回目 Free Reign(Part1)：議会 政治制度と民主国家の誕生を考える</p> <p>7回目 Free Reign(Part2)：啓蒙思想と社会革命について考える</p> <p>8回目 Monkey Business(part1)：産業革命と進化論について考える(1)</p> <p>9回目 Monkey Business(part1)：産業革命と進化論について考える(2)</p> <p>10回目 Monkey Business(part1)：産業革命と自然環境について考える</p> <p>11回目 White Man's Race：文明の進歩と人種問題について考える</p> <p>12回目 Back to the Future(Part1)：西洋文明に対する植民地の抵抗について考える</p> <p>13回目 Back to the Future(Part2)：ロシア革命と資本主義との相克について考える</p> <p>14回目 Back to the Future(Part3)：ナチズムと民族浄化について考える</p> <p>15回目 Which Way?：民族主義とグローバリズムの行き着く先について考える</p> <p>16回目 定期試験</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	David Peaty, Good News, Book2, 桐原書店		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末筆記試験(60%), 小テストの結果(30%)とE-ラーニング学修履歴(10%)など全学教育(英語)の規則に従って、評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	指定クラスの学生及び再履修学生		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎日のEラーニング(自習教材)の活用、授業前の予習等規則的な学習に努めること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		

第1回	以下のおおまかな順番で授業を進める。 第1回：授業概要（テキストを通した授業内容の説明） Unit 1 :Summer Weight Gain 肥満問題を考える
第2回	第2回： Unit 2 :Sugar in Danger 摂取カロリーの問題を考える
第3回	第3回： Unit 3 :Adult Diapers Outsell Baby Diapers 高齢化社会の問題を考える
第4回	第4回： Unit 4 :Medical Robots 医療現場におけるロボットの導入を考える
第5回	第5回： Unit 5 :Coffee Drinking Tied to Lower Risk of Suicide コーヒーの効鬱効果を考える
第6回	第6回：3step 小テスト（1回目） Unit 6 :How Emergency Rooms Work 救急救命室のしくみを知る
第7回	第7回： Unit 7 :Keep Your Heart Moving 脳卒中と運動との関係を知る
第8回	第8回： Unit 8 :Teens Light Up E-Cigaretts 若年喫煙の問題を考える
第9回	第9回： Unit 9 :Curing Peanut Allergies 食物アレルギーの治療法を考える
第10回	第10回： Unit 10 :Cancer and Poverty 癌と貧困の問題を考える
第11回	第11回： Unit 11 :AED AEDについて知ること
第12回	第12回：3step 小テスト（2回目） Unit 12 :Global Warming Triggers Disease 地球温暖化と病気の増加を考える
第13回	第13回：G-Telp テスト
第14回	第14回：Useful Expressions（1～6）解説 医療現場での基本的な会話表現を知ること
第15回	第15回：まとめと定期試験のための質問タイム
第16回	定期試験（筆記）：形式については第15講の授業時に説明

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011027	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T6) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後10分間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語の読解力、音読力を高め、語彙を増やすことがねらいである。		
授業到達目標 / Goal	英語エッセイの内容を理解し、英語で的確に答えることができる。派生語を理解し、語彙を増やす。英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	様々な人々が書いたエッセイを読み、内容を深く理解する。内容把握問題を解くと同時に、本文の overlapping, shadowingを通して、英語らしい読み方を習得する。派生語を中心に語彙力を養成する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	語彙力、読解力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「Peace Talk」 (開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc外著)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E-Learning 20% (小テスト2回10% / Power Words 10%) G-TELP 20% 予習小テスト(20%) 期末テスト(40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席が原則。正当な理由があっても、欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回宿題 (教科書の練習問題) を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation 教科書販売 / 授業の進め方 / 英語構成法		
第2回	予習小テスト Ch.1: September 11 (語彙・読解問題、音読)		
第3回	予習小テスト Ch.2: Beyond "September 11" (語彙・読解問題、音読)		
第4回	Review (1,2)		
第5回	予習小テスト Ch.3: The Stone Walk (語彙・読解問題、音読)		

第6回	ビデオ観賞(Ch. 1 ~ 4 関連) / ch.3
第7回	(11/11) 3 - Step小テスト ( 1 ) 予習小テスト Ch.4: Students ' Power in the Stone Walk ( 語彙・読解問題、音読 )
第8回	Review (Ch. 3、4)
第9回	予習小テスト Ch. 5:Japan and My Family
第10回	予習小テスト Ch.6: The Japan that I love ( 語彙、読解問題、音読 )
第11回	(12/16)3-Step 小テスト ( 2 ) Review (Ch.5~6) / ビデオ鑑賞(Ch. 7 ~ 8 関連)
第12回	(1/6) G-TELP
第13回	予習小テスト Ch.7:Paper Sculpture ( 語彙・読解問題、音読 )
第14回	予習小テスト Ch.8:The tour of the exhibition ( 語彙・読解問題 )
第15回	Review (Ch.3~4)
第16回	( 2/10 ) 期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011028	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T7) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生(クラス等) / Object Student	T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に取る、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。		
授業到達目標/Goal	テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。基本的な英語を、聞いて理解できること。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式		
授業内容/Class outline/Con	The Wonderful World of Chemistry around Us をテキストに用い、化学の興味深い話題について聞き、話し、読み、書き、ペアあるいは4人で質問を出し答える等のチーム活動をする。各ユニットは会話パートと読みものパートを併せている。読みのパートについては、14回の授業の初めの4回は精読を中心に、次の2回は文章全体の構造に注目して速読の準備をし、その後の4回は速読を中心に、最後の4回は2種類のスキルの両方をバランスよく組み合わせるために演習を行う。  授業の最初は、予習型の小テストを行う。テスト範囲は、前回は、英作文、或いは英単語の指定すしその中から、出題する。その後リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの演習をする。(学生は指示された範囲や内容を、音読を含め必ず家庭で予習して授業に参加すること。各文の意味を取る、或いは、各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、音読を軽視しないこと。)音読する、必要な情報を抜き出す、大意を取る、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。また、ペアや4人でグループ活動する。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	The Wonderful World of Chemistry around Us, Masakazu Momeya, Paul Murry & Fred Ferrasci, EIHOSHA, 2100円+税。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20%、課外学習のe-learning 20%(3 Step-CALL 10%、Power Words 10%)、定期試験45%、小テスト約10%、授業での提出物、積極的な参加等約5%。 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。第一回目の授業の初めに教室で教科書を購入するので、代金を忘れずに。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシス広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシス広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			



学生へのメッセージ/Message for students	<p>毎回小テストをします。これは、好評です。  予習して授業に臨むことが原則です。  英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。  英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 What is chemistry?
第2回	Unit 2 How has chemistry developed?
第3回	Unit 3 What caused the dinosaurs to disappear?
第4回	Unit 4 How much is your body worth?
第5回	Unit 5 How does the sun get its energy?
第6回	Unit 6 What helped plants grow like magic?
第7回	第1回3step小テスト(15分程度) Unit 7 Why is gold so precious?
第8回	Unit 8 How has concrete changed the world?
第9回	Unit 9 What are some types of hot springs?
第10回	Unit 10 What are some uses and abuses of plastic?
第11回	第2回3step小テスト(15分程度) Unit 11 Why can carbon dioxide harm the environment?
第12回	G-TELP テスト
第13回	Unit 12 What is special about Osamu Shimomura?
第14回	Unit 13 How does our digestive system work?
第15回	Unit 14 How does adrenalin affect our body?
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011029	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T8) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T8		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能 (リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング) を総合的に向上させることをめざす。		
授業到達目標 / Goal	TOEIC450点以上の英語力		
授業方法 (学習指導法) / Method	DVD付きテキストを使用しリスニング力を鍛える。また英文エッセイの内容について英問英答で理解を確認し、読解のポイントをつかむ。英文を聞き取る練習として、英英辞典を使った単語クイズも行う。これとは別にTOEIC語法・読解の練習問題を毎回し、語法の知識と語彙の強化を図る。テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、課外学習 (3 Step CALLとPowerwords) も組み入れてリスニング力・語彙力も強化する。		
授業内容 / Class outline / Con	日本で活躍する様々な出身国の人々とのインタビューを素材としたテキストを使用する。文化の違いを知ると同時に、インタビューでよく使われる表現も学ぶ。毎回のクイズや毎回の内容についての英問英答に答えることで、英語で反応する力を身に付ける。またテキストの内容に関連した簡単なペアワークをすることで会話力を鍛える。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『Working in Japan』 Cengage Learning David E. Bramley / 中井弘一 『New Steps to Success in the TOEIC Test Grammar & Reading 450』 松柏社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 (ディクテーションを含む) 30%、中間テスト (ディクテーションを含む) 15%、授業への参加度15%。G-TLP試験スコア20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、Powerwords 10%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障害学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション (英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)		
第2回	Unit 1: Sales Can Be Like Acting TOEIC対策テキスト Drill 1, 2		
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World TOEIC対策テキスト Drill 3, 4		
第4回	Unit 3: Love Sells Cars TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8		
第5回	Unit 4: Translating Is More Than Words TOEIC対策テキスト Drill 9, 10		

第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service TOEIC対策テキスト Drill 11, 12
第7回	Unit 6: Toast Your Success! TOEIC対策テキスト Drill 13, 14 3step小テスト 1回目
第8回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best TOEIC対策テキスト Drill 15, 16
第9回	中間テスト TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20
第10回	Unit 8: Build a Happy Life! TOEIC対策テキスト Drill 21, 22
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle TOEIC対策テキスト Drill 23, 24 3step小テスト 2回目
第12回	G-TELPテスト
第13回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change TOEIC対策テキスト Drill 25, 26
第14回	Unit 11: Connect Workers With Companies TOEIC対策テキスト Drill 27, 28
第15回	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention TOEIC対策テキスト Drill 29, 30
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011030	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T9) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、及び16:10 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音音的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容 (概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音音的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、G-TELP20%、課外学習のE-Learning20% (3 Step CALL10%、PowerWords10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	3step小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/t/と/n/+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	G-TELP実施
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011031	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T10) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部 (T10)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(1) 世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。 (2) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業到達目標 / Goal	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式でテキストを進める。		
授業内容 / Class outline / Con	DVDによるテレビニュースを視聴、リスニング、練習問題による内容把握、和訳		
キーワード / Key word	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	CNN Student News Vol.4 (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教員評価分60%(定期試験60%、小テスト、出席、授業への取り組み40%) G-TLP20%, e-learningの評価 (1)Power Wordsの指定されたレベルの50ユニットを15週で修了すること 10%、(2)3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること (授業の6回目3step小テスト、授業の12回目3step小テスト) 10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席 (2回遅刻で1回欠席とみなす) で失格とする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中に指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		
第2回	CNN Student News Vol.4 テレビニュース英語とは、Unit 1(Half-Empty or Half-Full?)		
第3回	CNN Student News Vol.4 Unit 1 (Half-Empty or Half-Full?)		
第4回	CNN Student News Vol.4 Unit 3 (Staying Safe Online)		
第5回	CNN Student News Vol.4 Unit 3(Staying Safe Online )		
第6回	3step小テスト1回目 CNN Student News Vol.4 Unit 4 (How to Prevent the Flu)		
第7回	CNN Student News Vol.4 Unit 4 (How to Prevent the Flu)		
第8回	CNN Student News Vol.4 Unit 5 (Burger King Moves to Canada)		
第9回	CNN Student News Vol.4 Unit 5 (Burger King Moves to Canada)		
第10回	CNN Student News Vol.4 Unit 7 (Making New Energy)		
第11回	3step小テスト2回目 CNN Student News Vol.4 Unit 7 (Making New Energy())		

第12回	CNN Student News Vol.4 Unit 10 (Paying for College)
第13回	G-TELP
第14回	CNN Student News Vol.4 Unit 10 (Paying for College)
第15回	CNN Student News Vol.4 Unit 14 (Micro-Robots)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011032	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、TOEIC/TOEFL/IEALTS形式のテストゼミを行い、その後、解答・解説を行う。後半 では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit12		
第7回	Listening 5, テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	G-TELP		
第11回	Listening 6, テキストUnit2		
第12回	Listening 9, テキストUnit4		
第13回	3Step小テスト(2), テキストUnit6		



第14回	Listening 10, テキストUnit7
第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011033	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英1)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Object Student	F(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜2限(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 課題について英語で論述する力を養う。 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)/Method	指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TELP 20% 指定する e-learning 教材 20% 授業中の課題 10%、 期末テスト 50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文速読教材(1)		
第3回	英文速読教材(2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	英文要約教材(1)		
第6回	3-STEP 小テスト 1回目 英文要約教材(2)		
第7回	Listening Comprehension Quiz (第2回)		
第8回	英語要約課題(3)		
第9回	英語要約課題(4)		
第10回	Listening Comprehension Quiz (第3回)		

第11回	英3-STEP 小テスト 2回目 文交渉メールの基礎と練習
第12回	英語課題作文練習
第13回	G-TELP 統一試験
第14回	英語プレゼンテーションの基礎
第15回	英語プレゼンテーション
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011034	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英2)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	F (英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 (メールにより受付)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業時にアクティビティを行うことにより、主に発信力の養成を行う。一方で、発信力を高めるために必要な他の技能等を養う。		
授業到達目標/Goal	英語を使うトレーニングを通し、今後の研究や社会で英語を使える力を養う。		
授業方法 (学習指導法) / Method	主にペア・グループ活動		
授業内容/Class outline/Con	Reading, Listeningを通して単語量や知識を増やす。アクティブラーニングを通し他の生徒と協力し英語を実践レベルで使う。Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行う。Speaking を通し間違いを恐れずに発話する力を養う。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	English Central, Science Daily, News in levels (その他インターネット記事)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト (9回実施) 10% プレゼンテーショングループ評価 20% 定期試験 30% 3Step Call System 10% Power Words 10% G-TELP 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は今まで学んできた英語を実際に使うことを目的とします。これからの学習、及び社会において英語がどのように関わってくるか意識しながら英語を使う練習をしましょう。何かを受動的に学ぶというよりも積極的に自らの意見を述べ、全生徒が活発的に授業に参加してください。会話練習においては、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを感じてくれたらと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション / Group activity		
第2回	小テスト / Reading activity / Group activity		
第3回	小テスト / Listening activity / Group activity		
第4回	小テスト / Reading activity / Group activity		
第5回	小テスト / Listening activity / Group activity		
第6回	3 Step 小テスト1回目 / Group activity		
第7回	小テスト / Group activity <プレゼンリハーサル及び最終確認>		
第8回	第1回 プレゼン「自由課題(水産学に関するテーマ)」		
第9回	小テスト / Speaking practice / Group activity		
第10回	小テスト / Speaking practice / Group activity		
第11回	3 Step 小テスト2回目 / Group activity		

第12回	小テスト / Speaking practice / Group activity
第13回	G-TELP テスト
第14回	小テスト / Group activity <プレゼンリハーサル及び最終確認>
第15回	第2回 プレゼン「自由課題（水産学に関するテーマ）」
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011035	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英3)) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、及び16:10 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音音的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音音的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、G-TELP20%、課外学習のE-Learning20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	3step小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+/t/と/n/+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	G-TELP実施
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011036	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P1) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(P1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水4 木2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。Business English から、医学関係の話題を用いて、リスニング、スピーキングの練習をします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびWords and Phrases で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル6の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。Business English を用いたリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法で英語を聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。 テキストと同時に授業中にも、3Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。 またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。 リスニングについては、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してください。 その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。 担当者から指示された家庭学習や予習復習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : The Picture of Health (南雲堂) 1,700円  教材 : プリント教材 必要に応じて配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、G-TELP 20%、e-learning 20%(小テスト) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			



学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. Business English Flu (1) e-learning Power Words Level 6 Unit.1-5 3 Step People at Work
第2回	教科書 Unit 2. Business English Flu (2) e-learning Power Words Level 6 Unit.6-10 3 Step People at Work
第3回	教科書 Unit 3. Business English Flu (3) ¥ e-learning Power Words Level 6 テスト 3 Step People at Work
第4回	教科書 Unit 4. Business English Flu (4) e-learning Power Words Level 6 Unit.11-15 3 Step People at Work
第5回	教科書 Unit 5. Business English Flu (5)復習 e-learning Power Words Level 6 Unit.16-20 3 Step People at Work
第6回	教科書 Unit 6. Business English Obesity (1) 3 Step People at Work 3 Step テスト
第7回	教科書 Unit 7. Business English Obesity (2) e-learning Power Words Level 6 小テスト Unit.21-25 3 Step People at Work
第8回	教科書 Unit 8. Business English Obesity (3) e-learning Power Words Level 6 Unit.26-30 3 Step People at Work
第9回	教科書 Unit 9. Business English Obesity (4) e-learning Power Words Level 6 小テスト 3 Step People at Work
第10回	教科書 Unit 10. Business English Obesity (5) 復習 e-learning Power Words Level 6 Unit.31-35 3 Step People at Work
第11回	G-TELP試験 e-learning Power Words Level 6 Unit.36-40
第12回	教科書 Unit 11. Business English Good Posture (1) Business English Obesity (1)  3 Step People at Work e-learning Power Words Level 6 小テスト
第13回	教科書 Unit 12. Business English Good Posture (2) 3 Step People at Work テスト e-learning Power Words Level 3テスト Unit.41-45
第14回	教科書 Unit 13. Business English Good Posture (3)(4) e-learning Power Words Level 3 Unit.46-50
第15回	教科書 Unit 14. Business English Good Posture (5) 復習 e-learning Power Words Level 3 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011037	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P2) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP (20%), e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepは、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月3日 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	10月5日 速読 (phrase reading), Fuel your body and mind. 基本動詞(1)		
第3回	10月12日 (phrase reading)とペアワーク(1), Laughing will save you from going crazy. 基本動詞(2)		
第4回	10月17日 速読 (phrase reading)とペアワーク(2), The French Paradox 基本動詞(3)		

第5回	10月19日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(4), Don't stay away from natto. 基本動詞(4)
第6回	10月24日 3 stepテスト 1 回目 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign? 基本動詞(5)
第7回	10月26日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(5), Turn-taking (2)基本動詞(6) 3STEP小テスト 1 回目
第8回	10月31日 Power Words 1 回目締め切り 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(6), Getting a good night sleep is a challenge. 基本動詞(7)
第9回	11月2日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(7), Current Issues 基本動詞(8)
第10回	11月7日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(8), , Chocolate and its magical power. 基本動詞(9)
第11回	11月9日 G-TELP試験
第12回	11月14日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(9), Processed Food. 基本動詞(10)
第13回	11月16日 3STEP小テスト 2 回目 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(10), Environment Health Threats. 基本動詞(11)
第14回	11月21日 Genetically modified food, IELTS Writing入門(1) IELTS Writing入門(1), 基本動詞(12) 5/31 Power Words二回目締め切り
第15回	11月28日 Power words 2 回目締め切り 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習 5/31日に3step学習時間締め切り

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011038	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G1) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化社会学部(G1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時の口頭による申請とメールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語4技能をノート・テイキング、ディスカッション、プレゼンテーション等の学術的場面で活用する訓練を行い、英語での講義に適應できるような総合的な英語力を養成する。特に、海外留学にとって有用となる実践的な英語力の養成を目的とする。実際の英語の講義で用いられる語彙や表現を用いて、情報を効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを自分自身の発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・英語のノート・テイキング、ディスカッション、プレゼンテーション等の技法を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の冒頭では、予習・復習を兼ねた小テストを実施する。</li> <li>・指定のテキスト及び配布するプリントを用いて、英語4技能について、総合的な学習を行う。</li> <li>・授業の最後では、作文の作成やグループ・ペアでの発表を行う。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: Lecture Ready Second Edition 3 著者: Laurie Frazier & Shalle Leeming 出版社: Oxford University Press ISBN: 9780194417297 価格: 2,800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	G-TLP: 20% e-learning: 20% 小テスト・課題: 25% 中間・期末テスト: 25% 発表: 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	4月12日 オリエンテーション & 準備学習		
2回	4月19日 Chapter 1: New Trends in Marketing Research		

3回	4月26日 Chapter 2: Business Ethics
4回	5月10日 Chapter 3: Trends in Media Use
5回	5月17日 3-STEP 小テスト (1) & プリント教材
6回	5月24日 Chapter 4: The Changing Music Industry
7回	5月31日 Chapter 5: The Placebo Effect
8回	6月7日 中間テスト & 発表
9回	6月14日 Chapter 6: Intelligent Machines
10回	6月21日 Chapter 7: Sibling Relationships
11回	6月28日 3-STEP 小テスト (2) & プリント教材
12回	7月5日 Chapter 8: Multiple Intelligences
13回	7月12日 G-TELP (TEST)
14回	7月19日 Chapter 9: The Art of Graffiti
15回	7月26日 復習 & 発表
16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011039	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G2) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(G2のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP (20%), e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	4月12日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	4月19日 第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	4月26日 第3回 速読(phrase reading)とLaughing will save you from going crazy.		
第4回	5月10日 第4回 速読(phrase reading)とペアワーク(2), The French Paradox		
第5回	5月17日 3STEP 小テスト1回目 第5回 速読(phrase reading) Don't stay away from natto.		

第6回	5月24日 第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign?
第7回	5月31日 第7回 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(3), Turn-taking (2) 6/3 Power Words 1回目締め切り
第8回	6月7日 第8回 速読(phrase reading)と, Getting a good night sleep is a challenge.
第9回	6月14日 第9回 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(4), Current Issues
第10回	6月21日 第10回 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(5), Chocolate and its magical power.
第11回	6月28日 3STEP小テスト2回目 第11回 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(6), Processed Food.
第12回	7月5日 第12回 速読(phrase reading)とEnvironment Health Threats.
第13回	7月12日 第13回 速読(phrase reading)と Genetically modified food 7/15 Power Words 2回目締め切り GTELP テスト
第14回	7月19日 第14回 ELTS Writing入門
第15回	7月26日 速読(6)とsummarizing まとめ
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590011040	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G3) / Comprehensive English II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	B棟1F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3限目		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行う。また、英文を読んで自分の意見を論理的に述べるができるライティングの基礎を養う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語の要約ができるようになる。 論理的に自分の意見を英語で述べられるようになる。 Essay Writingの書き方の基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	グループワークを通して、学生が自ら考え、学ぶことを目的とし、論理的に自分の意見を英語で伝えられる活動を取り入れる。 また、添削指導を行いながら論理的な文章を書けるようになる基礎固めを行う。そのため、授業前にEssay Writingの基礎をビデオ教材で学び、基本的な書き方を理解していただくこと。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	reading strategies, essay writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ビデオ教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3-Step CALL System(10%:小テスト2回、学習時間) Power Words(10%) G-TELP(20%) 授業中に行う単語テスト(10%) 課題の提出及び授業中の取組(30%) 期末試験(20%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	多文化社会学部の学生以外の再履修の受け入れは不可		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	このクラスは、添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	【オリエンテーション】 e-learning教材の説明 学習方法の説明 アンケートの実施 日本語で英文を要約する		
第2回	意見を述べる(1) プリント教材を使用し、英文の要約を日本語で行う。 自分の意見を述べる方法を学ぶ。		
第3回	意見を述べる(2) プリント教材を使用し、英文の要約を日本語で行う。 自分の意見を論理的に述べる方法を考える。		



第4回	意見を述べる(3) プリント教材を使用し、英文の要約を日本語で行う。 自分の意見を論理的に述べる方法を学ぶ。
第5回	3-Step小テスト(1) (約30分程度), 意見を述べる(4) これまでのプリント教材を振り返り、グループとしての意見を論理的にまとめ、発表する。
第6回	Essay Writing(1) 全体の構成について学ぶ
第7回	Essay Writing(2) Introductionの構成について学ぶ
第8回	Essay Writing(3) Introductionの構成について学ぶ Peer review
第9回	Essay Writing(4) Bodyの構成について学ぶ
第10回	Essay Writing(5) Bodyの構成について学ぶ Peer review
第11回	3-Step小テスト(2) (約30分程度), Essay Writing(6) Conclusionの構成について学ぶ
第12回	Essay Writing(7) Conclusionの構成について学ぶ Peer review
第13回	G-TELP
第14回	Essay Writing(8) これまでのまとめ
第15回	総復習と振り返り
第16回	期末試験